

日本労働年鑑 第56集 1986年版  
The Labour Year Book of Japan 1986

第二部 労働運動

XII 政党

5 民社党

6 国際活動

社会主義インター関係

(1)八四年一〇月一～二日、社会主義インターナショナル幹事会がリオ・デ・ジャネイロにおいて開かれ、民社党から塚本書記長、三浦学生対策委員長、田口国際局事務局長が出席した。会議には三四政党から一四〇人が参加し、「ラテン・アメリカとカリブ地域における平和と民主主義」について討議された。なお、幹事会に先立って開かれた経済政策委員会、財政総務委員会、軍縮委員会には、田口事務局長が出席した。

(2)八四年一一月八日、社会主義インターナショナル軍縮委員会東京会議が東京で開かれ、民社党からは永末国対委員長、渡辺国際局長、伊藤英成衆院議員、関参院議員が出席した。会議にはカレビ・ソルサ委員長(フィンランド社会民主党党首・首相)はじめ、一一政党から一八人が参加し、閉会にあたっては東京アピールが採択された。

(3)八五年二月二一～二二日、社会主義インターナショナル軍縮委員会がヘルシンキで開かれ、民社党からは田口国際局事務局長が出席した。

(4)社会主義インターナショナル軍縮委員会は、八五年三月二一～二二日モスクワ、八五年三月二五～二六日ワシントンをそれぞれ訪問し、民社党からは田口国際局事務局長がいずれにも参加した。

海外への代表派遣

八四年七月以降の一年間に、民社党が海外に派遣した代表団はつぎのとおりである。

(1)八四年八月、太平洋島しょ国における日本の援助協力の実態を調査し、各国政府関係者と会談するために、以下のように第四次南北問題調査団が派遣された。第一班、永末国対委員長、藤原衆院議員、安達政審会部長が、八月一〇日から九日間にわたって、グアム・ミクロネシア連邦・北マリアナ連邦を訪問した。第二班、河村副書記長、田口国際局事務局長が、八月一三日から二日間にわたってフィジー・ソロモン・パプア＝ニューギニアを訪問した。第三班、福井秀政同盟副会長(全郵政委員長)が、八月一三日から七日間にわたってフィジー・西サモア・トンガを訪問した。

(2)八四年九月一六日から九日間、中村副委員長(団長)、西村青年隊中央本部長、木下衆院議員、田口国際局事務局長からなる第七次東南アジア調査団が、タイ・マレーシア・インドネシアを訪問し、各国における日本の援助協力の実態を調査するとともに、各国政府関係者と会談した。

(3)八四年九月三〇日から一〇日間、塚本書記長はブラジル(リオ・デ・ジャネイロ、サン・パウロ)

パラグアイを訪問し、リオ・デ・ジャネイロでは社会主義インター幹事会に出席し、サン・パウロでは日系移民と懇談した。また、パラグアイでは、日本からの援助プロジェクト視察のほか政府関係者と会談した。なお、これには三浦学生対策委員長と田口国際局事務局長が同行した。

日本労働年鑑 第56集 1986年版

発行 1985年12月5日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月15日公開開始

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1986年版(第56集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---